

議決権行使レポート

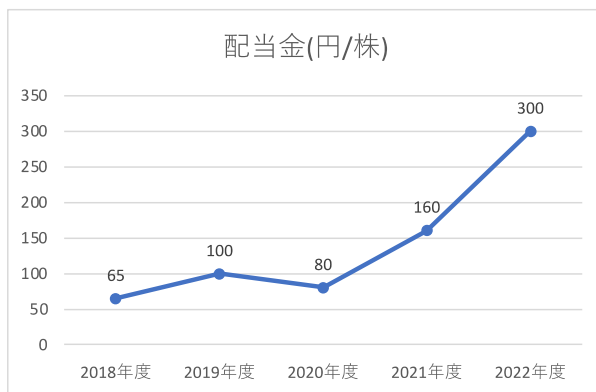
証券コード 5444

会社名 大和工業

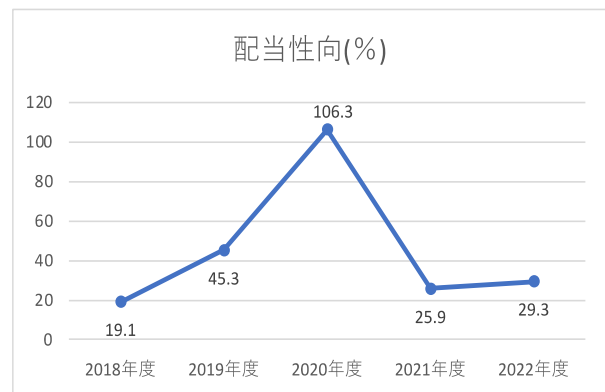
	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役8名選任の件			
井上 浩行 氏	○		
小畑 克正 氏	○		
塚本 一弘 氏	○		
米澤 和己 氏	○		
Damri Tunshevavong 氏	○		
安福 武之助 氏	○		
武田 邦俊 氏	○		
高橋 規 氏	○		
第3号議案 監査役2名選任の件			
形山 成朗 氏	○		
中上 幹雄 氏	○		
第4号議案 補欠監査役1名選任の件			
谷林 一憲 氏	○		
第5号議案 取締役の報酬額改定の件	○		

上記の推奨をした理由

【第1号議案 剰余金の処分の件】



図表1



図表2

図表 1 より、近年配当金は増加傾向にあり、特に 2021 年度から 2022 年度にかけては倍近くに増えている。また図表 2 より、配当性向は 2020 年度には 100%を超えてしまっていたが、ここ 2 年間は 30%弱と適度な値を保っている。以上のことから、株主への利益還元と内部留保の双方の観点から見て、適切に剰余金を処分できていると言えるので、第 1 号議案に賛成する。

【第 2 号議案 取締役 8 名選任の件】

取締役会長の井上氏は、取締役を 49 年間務めており経験が豊富である。また、大和工業の ROE(自己資本利益率)は 2020 年度には新型コロナウイルスの影響もあり 1.65%まで落ち込んだが、その後立て直しここ 2 年間は 10%以上を維持できている。よって経営の収益効率性は安定していると判断できるため、井上氏の再任に賛成する。

また、代表取締役副社長の小畑氏についても、大和工業グループの鉄鋼事業において豊富な経験があることから、業績の安定を期待できるので再任に賛成する。

塚本氏、Damri 氏、武田氏の 3 名については、海外事業案件において大きな役割を果たしてきたことから、今後もグローバル企業である大和工業を支える人材であると期待できるので再任に賛成する。

米澤氏、安福氏、高橋氏の 3 名については、金融や経営の分野で秀でた見識と経験を有しており、大和工業の今後の安定した経営運営において有力な人材であることに加え、取締役在任年数も長すぎないことから、再任に賛成する。

【第 3 号議案 監査役 2 名選任の件】

形山氏については、長年の金融機関での業務経験を活かした適切な監査が、財務や会計分野中心に期待できる。中上氏については、弁護士として複数の企業の監査役を務めてきた経験があることから、司法の専門的な知識を活かした監査で大和工業への貢献が期待できる。また、両者とも監査役在任年数が 4 年と丁度いい。以上のことから、形山氏、中上氏の再任に賛成する。

【第 4 号議案 補欠監査役 1 名選任の件】

谷林氏については、中上氏と同様に、弁護士としての豊富な経験と法律事務所の代表弁護士としての経営経験に基づいた適切な職務遂行が期待できるので、選任に賛成する。

【第 5 号議案 取締役の報酬額改定の件】

大和工業の当期純利益は、新型コロナウイルスによる打撃後大幅に増加しており、企業の成長性に問題がないこと、取締役の人数は 11 名で変更がないことから、取締役の報酬額を改定しても特に問題はないと判断できるので、当議案に賛成する。